

国労本部電送 No. 1	発信日	発信 企画部	責任者	受領者
	2020年9月18日			

指令第1号

2020年9月18日

エリア本部
各 執行委員長 殿
地方本部

国 鉄 労 働 組 合
中央執行委員長 松川 聡

2020年度中央執行委員会の成立について

国労は本日、第89回定期全国大会を新橋交通ビルにおいて開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面審議による開催を余儀なくされた今次大会では、各級機関の協力のもとで全国から寄せられた代議員の真摯な発言を集約し、職場で働く仲間の切実な声を受け止め、一致団結してこの難局に立ち向かいながら国労運動の更なる発展をめざし、大会の成立と各議題・議案に対する表決結果を承認し、向こう一年の方針を決定したことを確認した。

JRや関連会社に働く仲間の労働条件向上や処遇改善、安全・安定輸送の確立、さらにはJR北海道・四国・貨物会社に対する恒常的支援策の確立とJR九州の安定経営に向けた支援策の継続、自然災害からの鉄道復旧や基幹的輸送機関としての地方交通線の維持・活性化など持続可能な総合交通政策の実現に向けた取り組みはいうまでもなくJR産別としての国労の最大の課題である。

また、コロナ禍のなかで企業倒産による解雇や「派遣切り」、労働条件の一方的引き下げが進むなか、2021年春闘勝利、憲法改悪を許さない闘い、沖縄・辺野古新基地建設と原発再稼働反対、社会的格差の是正と非正規労働者の雇用・労働条件改善と労働者保護ルールの確立など、厳しい情勢下にあつて国労が中央・地方において共闘と連帯を拓けながら山積する諸課題に粘り強く取り組むことが求められている。

第89回定期全国大会を開催するにあたっては、多くの代議員からも指摘があったように、オンラインを活用した遠隔会議システムによる会議の成立や議

決の有効性など規約・規則の改正をはじめ、コロナ禍のもとでの組合活動のあり方や方向性などさまざまに課題が投げかけられた。

何よりも重要なことは、こうした教訓や提起を最大限活かしながら、すべての取り組みを通じて次世代を担う仲間を中心とした組織強化・拡大の成果へと着実に結実させることにある。

本部は、本日、第1回中央執行委員会を開催し、中央執行委員会の成立と当面する闘いの展開について決定したので、以下のとおり指令する。

《指 令》

1. 中央執行委員会の成立について

中央執行委員長	(専)	松川 聡	(総括、政治・共闘担当)
中央執行副委員長		佐々木隆一	(調査・法対部長、共闘担当)
書記長	(専)	佐藤 裕樹	(企画部長、政治・共闘担当)
中央執行委員		宮崎 浩則	(総務・財政部長、組織・共闘担当)
〃		本間 誠	(組織部長、業務担当)
〃		瀧口 良二	(教宣部長、共闘担当)
〃		木村 忠義	(業務部長、貨物・共闘担当)
会計監査員		馬橋 博一	
〃		羽生 隆盛	
〃		広瀬 裕二	

2. 当面する闘いの展開について

- (1) 各級機関は、全国大会で決定した方針を、全機関・組合員に徹底し、闘いの前進を図ること。
- (2) 各エリア・地方本部は、11月末を目途に大会を終了し、機関整備を図ること。
- (3) 安全・安定輸送と健全な労使関係の確立にむけた闘いに全力をあげること。
- (4) 期末手当、労働協約など秋季年末闘争に全力をあげること。
- (5) JRに働くすべての労働者の労働条件向上と職場環境・待遇改善を求める闘いに全力をあげ、最重要課題である組織の強化・拡大を図ること。
- (6) 中央闘争委員会を設置する。

以 上